

【ニュースレターでお店・会社・人が良くなる】

「良くなる」方法の1つとして、ニュースレターを提案しました。ニュースレターは営業ツールの中で、かなり優秀な存在と言われていますが、認知度はまだ低くて、ニッチな存在ではないかと思います。デジタルな時代だからこそアナログな情報発信は価値があると思います。あなたの営業活動の中に、**自分で作るニュースレター**を入れてみられませんか。新たなことをするのは、お金と時間とエネルギーが要りますが、お金と時間は少しだけ要り、作ること自体が楽しいので、エネルギーは反対に入ってきます。これらの情報をお友達やお得意様に提供され一緒に学び実践して、その成果を共有することで、**更なる絆を深めるお役立ち展開**につなげて欲しいです。

「私の意気込みや私の存在を知ってもらおう」

大島健作の元気便り 令和7年2月2日

元気ニュースレター研究会便りを大手住設機器メーカーT社の全国の営業所に送ろうと思いつきました。思えば、昭和58年頃にユニットバスの説明会に参加して、新しい物好きの私がいち早くその気になって、山陰でもトップの成績を上げました。当時はユニットバスを住宅に採用するのは珍しかったです。61年の静岡の工場見学参加店にも選ばれ、翌年には取引の工務店10数社と一緒に再び静岡に行きました。そんなT社さんに、便りを送付することでどんな効果や成果があるのか分かりませんが、まずは、ニュースレターのことを、そして私の意気込みや私の存在を知ってもらうことで、十分に成果があるのではないかと思う今日この頃です。

【大島健作ミニプロフィール ハガキ名刺】 令和7年2月現在
40年の建材店で多くの情報誌や冊子を発行。店消失後はフリー
ターとなり様々な職業を経験中。「お金をかけずに自分で作る
ニュースレター」で、お店や会社が発展するお役立ちしたいと
意気込んでいます。休止中のスキー・ソフトバレー・ゴルフを
再開したいです。1953年（昭和28年）7月生まれ 71歳。



【ドリーム】 ガイアの夜明けに出演（令和13年）

【夢】 東京ドームでイベント開催（令和14年）
毎朝書いている元気便りが私の頼りです（笑）。

〒699-1221 島根県雲南市大東町飯田92-10

元気ニュースレター研究会 お役立ち屋 大島健作
携帯 090-8996-0850

Eメール kensaku.ohshima@gmail.com

<http://genki-newsletter.com/>

（このハガキはコピー自由でサイト情報館から印刷可能です）

